

# 体を動かし 元気アップ！

## 【デイサービス】



↑利用者さんとともにスタッフも参加し、体操を行いました

南丹保健所から講師 2 名を招き、「なんたん元気づくり体操」をデイサービスで行っていただきました。

転倒リスクを軽減するために開発されたこの体操『難しかったら、かなん思ってたけどできたわ！』と利用者さんも笑顔を見せておられました。

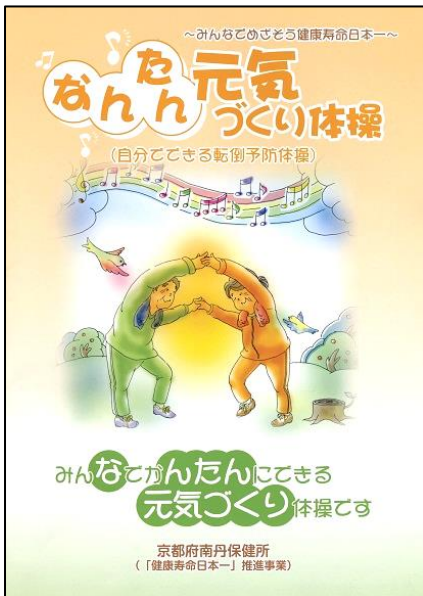
## 特大ジェンガで対戦

京丹波町社協から特大ジェンガを借りて、楽しんでもらいました。いつもとは違うレクリエーションに皆さん興味津々、届かなくなるほど高く積みあがる方もいて、皆さん真剣な表情で取り組まれていました。

利用者、職員の交流はもとより、こういったレクリエーション道具(物)の交流も行いながら、横のつながりも大切にしています。



↑特大ジェンガを楽しむ利用者さんたち



### 【なんたん元気づくり体操】

<https://www.pref.kyoto.jp/nantan/ho-kikaku/1309745312997.html>

## NPO 法人クローバー・サービス

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 53

■TEL (0771)88-5014 / ■FAX (0771)88-5017

■e-mail: info@cloverservice.or.jp

■ホームページ http://www.cloverservice.or.jp

## クローバー・デイサービスセンター

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 41-1

■TEL & FAX (0771)88-0138

■e-mail: day@cloverservice.or.jp



facebook QR

# 映画・本・歴史のこと

## 〈第8回〉

### 松本清張と昭和三十年代



有田誠(ありたまこと) 京丹波町在住の映画愛好家。

写真は、山口県下関市にて筆者撮影。

李鴻章道は、日清戦争講和条約(下関条約)の清側代表・李鴻章が宿泊地から交渉地「春帆楼」まで通ったという道。

松本清張の膨大な作品群は、一九七〇〜八〇年代に二期に分けて文春から刊行された全六十六巻でも収まりきらない。松竹、東宝、東映などで映画化された作品も数知れない。父親の田中峰太郎は、米子の松本家に養子に出され、十代で家出、広島で農

家の娘と結婚する。二人で日露戦争直後の石炭景気に沸く北九州にわたる。現・小倉北区で清張は生まれた。火野葦平みたいである。ただし、彼に近づいたものの、『九州文学』の同人たちは清張に距離を置いていたらしい。一九五三年、『或る』小



松本清張(1909~1992)

倉日記三伝』で芥川賞受賞。以来、四十年近く文壇の第一線で活躍した。長短編併せて、清張に外れなしである。

一九六一年、朴正熙の軍事クーデターの翌年、作家の平林たい子は韓国『思想界』誌で、清張の秘書は共産主義者、反米で、その手の資料ばかり集めさせ、本人はただのタイプライターであると発言した。元祖ヘイトスピーチみたいなおぼはんである。清張作品は、怒りや抵抗、権力不信で貫かれている。横柄と小心を裏表にした

政治家や官僚の内面をコクのあるねちっこさで描写する。

黒澤明、小林正樹、山本薩夫など、かつての一流監督には権力への怒りが土台にあった。当時の子供(私)としては、怒っている大人がこわかった。でも、それが大人であることとも思った。

『点と線』(東映一九五八年 小林恒夫) 小林恒夫は月光仮面、多羅尾伴内、少年探偵団など五〇年代後半、東映で小学生たちを映画の虜にした監督である。その前は東宝で黒澤明の『素晴らしき日曜日』(一九四七年)、『酔いどれ天使』(一九四八年)でチーフ助監督を務めた。清張の『点と線』は月刊『旅』に連載され、すぐに



高峰三枝子(1918~1990)

映画化された。タイトルバックは鉄道地図の東京から博多まで、東海道、山陽本線、鹿児島本線の黒線が赤色に変わっていく。地図は福岡で九州大のある貝塚から西鉄宮地岳線(みやじだけ)まで戻る。そして香椎海岸に並ぶ男女の死体の革靴と白足袋のアップから映画は始まる。

しかし、これは毒殺だった。機械工具を官庁に納入する安田(山形勲)と鎌倉で静養する病弱の妻亮子(高峰三枝子)夫婦の汚職隠滅のための殺人である。安田のアリバイは完璧だ

った。

この心中を不審に感じ  
た福岡の鳥飼刑事(加藤  
嘉)と警視庁の三原刑事  
(南廣)の九州から北海  
道に広がるアリバイ崩し  
の捜査が描かれる。

被害者の乗る夜行寝台  
特急「あさかぜ」は東京博  
多間を一七時間二五分で  
走る。連日満員、日航の深  
夜便「ムーンライト」を休  
止に追い込んだ。後年、ブ  
ルートレインと呼ばれた  
列車第一号である。

三原刑事は九州からの  
帰京に急行「雲仙」、札幌へ  
の捜査行に急行「十和田」、  
青函連絡船、急行「まりも」  
を利用する。全編、列車の  
移動が魅力となっている。  
犯人の亮子は、胸の病氣  
のなぐさめとして、時刻表  
を見るのが唯一の楽しみ

だった。その知識を使って

夫のアリバイを構築する。  
亮子の青酸カリで最後は  
夫を殺し、亮子も自殺、愛  
読した時刻表のアップで  
映画は終わる。

山形勲(一九一五〜一九九  
六)は、東映京都の時代劇、  
とりわけ『旗本退屈男』シ  
リーズ二一作品中の九作  
品に悪の巨魁として出演  
している。毎回、幕府を転  
覆させんとしては、市川右  
太衛門に斬られてしまう。  
ロンドンの生まれで、第一  
次大戦中に帰国した。

高峰三枝子は、父が筑前  
琵琶の宗家で、父の代稽古  
をするほどの腕前だった。  
一九五七年には南平台  
の邸宅を岸信介に貸して  
いた。一九八一年、国鉄「フ  
ルムーン」のCFに上原謙  
と共演する。この前提とし

て、七〇年代の金田一シリ

ーズなど、市川崑監督との  
充実した仕事があった。

元夫と長男が何度も横  
領や薬物により逮捕され  
る不幸と同時進行だった。

『張り込み』(松竹一九  
五八年 野村芳太郎)

鹿児島行急行「筑紫」に二  
人の刑事(大木実、宮口精  
二)が二時三十分、横浜  
から乗り込む。そこから翌  
夜、佐賀駅到着まで、車窓、  
車内風景を一二分間描写  
していく。ここでようやく  
「張り込み」のタイトルが  
出る。原作の秋を夏に置き



高峰秀子 (1924~2010)

換えることで、車内の暑さ

が見る側をも汗ばませる。

この急行「筑紫」は、『霧  
の旗』(一九六五年 山田洋次)

でも登場する。倍賞千恵子  
が上熊本駅から博多へ出  
る。そこから東京駅までの  
様子が長々と描かれる。山  
田洋次も助監督として『張  
り込み』に参加した。

話は、東京で起きた強盗  
殺人事件の犯人の一人石  
井(田村高廣)が、故郷の山  
口か、過去に付き合ってい  
たさだ子(高峰秀子)の住  
む佐賀市のどちらかに立  
ち寄るとみて、両方に刑事  
が二人ずつ張り込むとい  
うもの。

銀行員の後妻さだ子宅  
の向いの旅館二階から何  
日間も見張る。ラジオを客  
と共に皆で聴く旅館の女  
主人(浦辺粂子)。郵便局の

積立三百円を旅館に借り

に来るさだ子。毎朝、夫を、

子供たちを送り出し、洗濯  
物を干すさだ子。女子高生、

菱の実売り、金魚屋などが  
通っていく。夕食の買い物  
に行く市場のシーンは、い  
ったい何百人のエキスト  
ラを使ったのかという大  
がかりなものである。クレ  
ーンの俯瞰移動で市場全  
体を捉え、歩く高峰秀子を  
丁寧撮ってゆく。

昭和三十年代を検証し  
たければ、この映画を見る  
にかぎる。この国があらゆ  
る人や物を破壊し、すべて  
を金に換えようと今に至  
った中で、何を失ったかが  
全編に映り込んでいる。

映画は、二人の刑事と石  
井を乗せた東京行き夜行  
列車「西海」の発車で終わ  
る。



## 〈旬のレシピ〉 サツマイモのはちみつミルク煮



### ◆材料:

- ・サツマイモ … 大1本
- ・牛乳 … 200cc 程度
- ・はちみつ … 大さじ 1~1.5
- ・塩 … 小さじ 1/2 程度

### ◆手順:

- ①サツマイモを一口大に切り、水にさらしておく。
- ②①の水分しっかり切って、鍋に入れ、牛乳をサツマイモがつかう程度まで入れる。
- ③はちみつと塩を入れ、よく混ぜながら弱火にかけ、焦がさないよう注意しながら、サツマイモが軟らかくなるまで煮て完成。

※干しレーズンを加えても美味しいです。

## 〈賛助会員〉

- (有)あさひ堂
- (株)一谷住宅
- イン・ザ・ルーム亀岡店
- 上段税理士事務所
- (株)高木設備
- たにやま鍼灸接骨院
- 田端輪業
- (有)土佐寿司
- (有)永田損害保険事務所
- (有)西村テレビ
- 三木歯科医院
- みづほ電工
- 理容ちどり

(五十音順)

## 職員募集中!

クローバー・サービスでは一緒に働いてくれる方を募集しています。特に「訪問介護員(ホームヘルパー)」「外出支援サービスの運転員」が不足しています。また「デイサービス介護員」も随時募集中です。仕事内容により、各種資格が必要な場合もありますが、資格取得の支援なども行っておりますので、ご興味がある方は一度お電話ください。

## 編集後記

18年ぶりの「アレ」を達成した阪神タイガース、6月頃は不調だったものの、その後は好調をキープし、結果、球団史上最速でのリーグ優勝となりました ▼民放だけでなく、NHKでも「アレ」と表現するほど盛り上がりがあったので、おそらく「アレ」は今年の流行語大賞にもノミネートされるのではないのでしょうか? ただ、その優勝がかかった試合がテレビ放送されておらず残念がった方も多いのではないのでしょうか? 一昔前なら、伝統の巨人・阪神戦ですから、他の番組を延期してまで放送していたと思うのですが、野球人気も落ちてきたんですかね? ▼そんな「アレ」の裏では意外なものも話題になっていました。岡田監督が試合中に舐めている「アメ」が品切れ状態になっているというのです。ベンチのアメボックスの中身は「パイナップル」ばかりだそう、とあるインタビューで、「黄色」チムカラーで穴が空いていて、見通しがいい」と好きな理由を語られており、好調なのはパイナップルのおかげだと、ファンの間でもパイナップルを舐めながら応援するというスタイルが生まれたそうです。実際8月のパイナップルの売り上げは前年の倍以上で、優勝したことでまた注文が殺到し、製造元は嬉しい悲鳴をあげられています ▼今年は同じ関西のオリックスも圧倒的な強さでリーグ三連覇を達成しています。クライマックスシリーズの勝ち上がり条件にはなりますが、もし日本シリーズを阪神とオリックスで戦うことになれば、ますます関西は盛り上がるのではないのでしょうか? かく言う私は(旧)阪急ブレーブス時代からのオリックスファンなので、そうなれば負けない戦いになります。まだリーグ戦は終わっていませんが、この秋がとても楽しみです。